

奈良交通(株)負担金路線 沿線区との協議内容(項目別)

路線名	区	意見交換内容							
		生活実態	路線網	ダイヤ	運賃	車両	負担金	ソフト施策	その他
三山木水取(高船)線	高船区	・生活圏は精華町や生駒市(買い物等)。	・新田辺まで行けるような路線の変更は可能か。	・第一便(10:03発)の使い勝手が悪い。 ・仮に3便になっても利便性は向上しない。 ・通勤に使えるダイヤ設定はできないのか(始発7時台、終着20時台)。 ・通勤時間帯が無理なら、第一便をあと1時間早めてもらいたい。	・三山木駅までの片道560円は高い。例えば100円にならないか。	・車両を小型化すれば経費削減になるのではないか。	・1,000万円でデマンド交通に変えればいい。 ・人口も増えないなら1,000万円で小型車両を何台か購入すればいい。		・高船や打田への来訪が増えるような仕組み。
	打田区	・生活圏は精華町や生駒市(病院や買い物等)。 ・将来自家用車が運転できなくなった場合の移動手段の確保が心配。		・通院しやすいダイヤ編成。 ・昼間の増便で利用者が増えるのではないか。 ・公共交通機関については、最低限のサービスとして便数確保は必要。					
	水取区	・自家用車利用が多い。 ・駅までは家族送迎が多い。 ・将来自家用車が運転できなくなった場合の移動手段の確保が心配。		・最終便が早い時間帯で終わるので、使いたくても使えない。タクシーに頼ってしまう。		・車両を小型化すれば経費削減になるのではないか。	・負担金額の決め方は。 ・採算性を保つための乗車ラインは。	・広報を活用したPRも必要ではないか。 ・時刻表を配布して欲しい。	
	普賢寺区								・定住人口を増やすべきではないか。 ・中山間地域に核となる施設を作るか、廃屋を有効活用するなどして交流人口を増やすべき。
	多々羅区	・60歳以上の家庭は70件中35件。そのうち、自家用車運転者は15件。 ・高齢者居住地域である。	・同志社山手循環バスを多々羅まで運行して欲しい。 ・新田辺から同志社大学、多々羅を経由して同志社山手を循環する路線を追加して欲しい。	・同志社山手循環バスを多々羅まで運行し、1時間に1本に増やして欲しい。					
東部循環線	興戸区	・バス停で待っている人をたまたま見かけるが、ほとんど利用者はいないと思う。							
	高木区	・区民の大半は、東部循環線の利便性を感じていない(なくても困らない)。							・バスを廃止するなら、市役所へのアクセス代替手段を提案してもらいたい。 ・アンケートなどで区民の意見を吸い上げて、それでも需要がないなら廃止されても仕方がない。
	河原区	・駅勢圏内にありバス利用はほぼない。	・加波羅橋バス停は、必要性が薄く、不要(区役員会の協議結果)。 ・事務局のルート変更案についても問題なし。						
	草内区		・草内区内を自由乗降制で運行してはどうか。			・車両を小型化すれば経費削減になるのではないか。	・利用者がいないバスに年間5,000万円も投じるのは無駄ではないか。 ・効率的に税金を分配すべき。		